

令和2年10月入学／令和3年4月入学（第1期）

地域創生科学研究科修士課程入学試験問題

科目名 多文化共生学Ⅰ（小論文）	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻 多文化共生学プログラム
---------------------	--

次の問いについて、日本語または英語で解答しなさい。

「多文化共生」の概念について記し、学術研究としての課題または実践的な課題について具体例をあげて述べなさい（課題は1つでも複数でもよい）。

令和2年10月入学／令和3年4月入学（第1期）

地域創生科学研究科修士課程入学試験問題

科目名 多文化共生学Ⅱ（選択）	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻 多文化共生学プログラム
--------------------	--

以下の4つの問いから1つを選び、日本語または英語で解答しなさい（選択した問題の番号を解答用紙の問題番号欄に記入すること）。

1. 思想・藝術・歴史の各研究における研究対象の違いとその研究方法の一般的な特徴を示し、あなたの研究では、どのような対象をどのように研究するか具体的に説明しなさい。
2. 日本文化または日本文学と「自然」（動植物、山・海・川などの地形、気候、災害など）との関わりについて、あなた自身の研究対象に引きつけ、もしくは任意の作家・作品の具体例をあげて、そこに表れた文化的・文学的特質について、考えるところを自由に論じなさい。
3. 社会・心理・教育の領域において、あなたが関心をもっている多文化共生に関する課題を1つ選び、どのような研究が必要か具体例をあげて論じなさい。
4. 緊急事態に関してロックダウン（感染症拡大防止などのために、人々の外出や移動を制限すること）が行われている状況では、言語コミュニケーションのあり方に変化が生じることが考えられる。このような状況におけるコミュニケーションの特徴について考えられることを、根拠を示して論じなさい。

令和3年4月入学（第2期）

地域創生科学研究科修士課程入学試験問題

社会デザイン科学専攻

多文化共生学プログラム

- ・多文化共生学Ⅰ（小論文） 1ページ
- ・多文化共生学Ⅱ（選択） 2ページ

試験開始前に以下をよく読んでください。

【注意事項】

1. 多文化共生学プログラムでは、専門科目2科目を課します。
2. 「多文化共生学Ⅰ（小論文）」は必修科目です。全員が受験してください。
3. 「多文化共生学Ⅱ」は選択科目です。
4. 答案は試験問題ごとに別の解答用紙を用い、それぞれに受験番号を、「多文化共生学Ⅱ」については選択した問題番号を記入してください。
5. 外国人留学生特別選抜の受験者は、日本語・母語辞書（電子辞書・翻訳機等は除く）を使用することができます。
6. 試験終了後は、解答用紙及び下書き用紙を全て回収します。試験問題は持ち帰ってください。

令和3年4月入学（第2期）

地域創生科学研究科修士課程入学試験問題

科目名 多文化共生学Ⅰ（小論文）	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻 多文化共生学プログラム
---------------------	--

次の問いについて、日本語または英語で解答しなさい。

「多文化共生」とはということか。「多文化共生」の概念を明記したうえで、「多文化共生」が問われるテーマを一つ取りあげ、具体例をあげて論じなさい。

令和3年4月入学（第2期）

地域創生科学研究科修士課程入学試験問題

科目名 多文化共生学Ⅱ（選択）	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻 多文化共生学プログラム
--------------------	--

以下の4つの問いから1つを選び、日本語または英語で解答しなさい（選択した問題の番号を解答用紙の問題番号欄に記入すること）。

1. 思想・藝術・歴史の中から、あなたの研究と最も関連する学問領域で用いる重要な用語や基礎的な概念を三つ以上示して説明しなさい。また、それらの用語や基礎的な概念をあなたの研究ではどのように応用できるか論じなさい。
2. 文化または文学における「大衆性」について、あなた自身の研究対象に引きつけ、もしくは任意の作家作品の具体例をあげて、考えるところを自由に論じなさい。
3. 多文化社会における教育・子育ての問題あるいは多文化社会における現代的な課題について、事例をあげて論じなさい。
4. 言語、コミュニケーション、言語教育の領域において、あなたが関心を持っている課題を一つ選び、その課題の学問的意義を論じなさい。